

東建パブリニユース

平成27年12月11日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成27年11月30日

週刊住宅

P. 2

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。



ひと
三重県桑名市の自社ゴルフ場「東建多度カントリークラブ・名古屋」に10月25日、タイムシェア物件「ホテル多度温泉レジデンス新設の理由を話す。」
館（全21室）を開設した。バブル期に人気となったタイムシェアだが、最近はお供給が少なく、しかし左右田社長は「少子高齢化が進み人口が減る中で、富裕層の人口は増えている」とコメントしている。

タイムシェア事業に参入した東建コーポレーション社長 **左右田 稔**さん

「ビジネス面以外でも開設理由がある。68歳の左右田社長が同窓会に出席する。」「みんな年をとったな」と感じるところだ。そこで同世代が老人ホームに入る前に始め、ここで健康に暮らしてほしいと考える。

高齢者の健康な暮らし願う
そのための開発に当たり健康をテーマに掲げた。温泉を使用した温泉プールを設け、歩行浴やジャグジで疲労回復やストレス解消健康維持などができる。建物周辺には四季の花を築し、散歩できるウォーク

このほか温室で育てた果物やゴルフ場内で採れたタケノコ、インシンなどを使った料理の提供も検討す。多度」が軌道に乗れば岐阜のゴルフ場にも同様の物件を作りたいと考える。

「サービス付き高齢者向け住宅事業に参入するなど高齢者に関する事業に力を入れるが、本人はまだ現役。本社のある名古屋に「夜のお誘い」が多いため、10年前から「東建多度カントリークラブ」に移り住んで朝から晩まで仕事漬けの生活を